

月並みならぬ銅製ペーパーナイフ

31日の政宗騎馬像帰還記念 タゼン発売

銅製品の製造で400年以上の歴史を持つタゼン(仙台市)は7日、仙台藩祖伊達政宗のかぶとの三日月をモチーフにした3種の「伊達銅月ペーパーナイフ」を発売した。昨年3月の地震で損壊し、修復作業を経て31日に仙台城跡で公開される伊達政宗騎馬像の帰還を記念して製作した。

長さ15センチ、厚さ2ミリ。職人が切り出した銅をたたいて削り、丁寧に磨いた。25号と軽量で手紙や段ボール箱などの開封に役立つ。

銅製品は通常、酸化防止剤を塗るが、「素」と名付けた製品は無塗装で、赤銅色から緑青色に変化する過程が楽しめる。表面に炎熱を当てて赤みを帯びさせた「炎」、硫黄によって化学反応させた「炎染」は深みのある色が特長だ。

政宗から与えられた「御銅師」の称号を継ぎ、製品を開発した田中善副社長(40)は「銅の特色を生かして技巧を凝らした。実用性と美を兼ね備えた製品を活用してほしい」と話す。

1本3万3000円。3種合わせて50本限定。河北新報社が製品化に協力し、仙台市内のタゼン5店と通販サイト「かほピョンモールの47CLUB店」で扱う。連絡先はタゼン022(284)1641。



職人技が凝縮されたペーパーナイフ。(左から)「素」「炎」「炎染」

かほピョンモールのQRコード

